

令和4年11月14日

令和4年第3回神奈川県議会定例会

産業労働常任委員会報告資料

産業労働局

目 次

ページ

I 原油・原材料高騰等対策特別融資の状況について 1

I 原油・原材料高騰等対策特別融資の状況について

1 これまでの経過

原油価格の上昇により影響を受けた中小企業・小規模事業者に対する支援として、

- ・ 令和3年11月10日から、金融課及び（公財）神奈川産業振興センター等に「原油価格上昇に関する特別相談窓口」を設置
- ・ 令和4年2月25日に、国の動きと歩調を合わせて、「ウクライナ情勢・原油価格上昇等に関する特別相談窓口」に拡充
- ・ 同年3月9日には原油価格・物価高騰等に直面する中小企業者等を対象とした「原油・原材料高騰等対策特別融資」を新設
- ・ 同年7月25日から12月28日までの間、「原油・原材料高騰等対策特別融資」の信用保証料補助を拡充し、中小企業者が負担する信用保証料をゼロとするため、6月補正予算に約9.3億円を計上
- ・ 予想を上回る融資の申込みに対応するため、9月補正（その2）で約40.2億円の追加予算を計上
- ・ 10月末までの融資実績は、2,421件、約628億円となっており、年末まで実施すると、予算が不足することが見込まれる。

2 融資実績（令和4年3月～令和4年10月）

（単位：件、億円）

年 月	件 数	金 額
令和4年3月（3/9～）	3	0.6
4月	9	2.8
5月	10	3.4
6月	12	2.3
7月	60	19.3
8月	628	175.7
9月	1,017	270.7
10月	682	153.5
合 計	2,421	628.6

※ 各月の融資金額は、端数の切捨てのため合計金額と一致しない。

※ 保証料ゼロを実施した7月25日以降の融資実績は、2,379件、617.0億円。

3 融資に伴う信用保証料補助の額の見込

予算(A)	補助実績・見込(B)	差引(A-B)
6月補正予算 9.3億円	10月末時点 約34億円	
9月補正予算 40.2億円	11月末(見込) } 約56～	
	12月末(見込) } 約66億円	
計 49.5億円	(見込) 約90～100億円	(不足)▲約40～50億円

4 年末までに予算が不足すると見込まれる主な要因

- 原油・原材料価格の高騰が長期化し、円安も更に進み、中小企業の資金繰りが厳しくなっていることから、今後も資金需要が見込まれること
- 「原油・原材料高騰等対策特別融資」は、売上減少だけでなく利益減少も融資対象にしており、利用しやすい制度であること
- 保証料ゼロを契機に、金融機関が中小企業に積極的に声掛けしてくれていること
- 物価高騰の長期化や円安の進行により、ボーナスや年越し資金といった年末の資金需要期に向けて、融資実績は9月補正予算計上時点よりもさらに増加が見込まれること

5 今後の対応

- 本事業の中途での打ち切りは、保証料ゼロを前提とした中小企業の資金計画に支障が生じるおそれがあることから、年末まで事業を継続し、中小企業の資金繰りを支える必要がある。
- 既に想定を超えて融資の利用が増加していることから、当面の間は予備費（10億円）の活用により対応することとし、さらに年末までに必要な約30～40億円については、補正予算等による対応を検討する。